

開催のご挨拶

岐阜県は森林が多く平野部と山間地の標高差が大きく、稲作のほか農産物も様々なものが出回っていますが、『21世紀の果物』としてブルーベリーの生産も増えつつあります。

県内のブルーベリーの規模は現在おおよそ15ha、45tです。このような中、本大会では、県下のブルーベリー栽培者、ブルーベリーに関心のある方々及び全国から参加される方々と共に、ブルーベリーの魅力とその多様性を話し合い、さらに栽培技術の向上を目指しながらいかにブルーベリーの振興を図るか、また県下の栽培面積、生産量のこれから、をいかに飛躍的に発展させるかを考えるチャンスにしたいと考えています。

ぎふ県ブルーベリー協会員は、新品種導入、鉢植え、土植え、ハウス栽培などに挑戦しています。会員は現在地域の特性に従い、多目的施設での体験実習を楽しめる地域密着型の観光農園作り、また企業(大垣共立銀行)と連携し濃尾平野を一望できる山間の茶畑の再利用により面積拡大と6次産業化を目指す園作り、合わせて経費節減に努めながら初心者でも簡単に作りこなせる「ど根性栽培」の観光農園作り、並びに高齢化社会における健康果実ブルーベリーの生産拡大に向け遊休農地の活用などを積極的に進めております。さらに20年ほど前に国の補助金で開発した農園を、地産地消を目的とした販売所にし、組合で観光農園を運営している園や、夢のある農業・日本一のブルーベリー売り上げを目指す、目標1億円!の6次産業化にまい進中の園もあります。また10年後のブルーベリー園を考え、東濃地区、飛騨地区では観光農園6次産業化を目指し、若者が働ける夢のある計画を準備しつつあります。このような現況の中モデル的な栽培を通じながら、これからの岐阜県のブルーベリー栽培・生産量の拡大を図っています。園地見学では、これら県下のブルーベリー園を見て頂きます。

また本大会では、このような課題を研究実践されているお二人の講師から講演を頂き、参加者を交えたパネルディスカッションを通じ皆様との共通の課題の方向付けを図りたいと存じます。一堂に会した皆様方からのご指導ならびにご助言を頂ければ主催者にとっては幸いです。

皆様ご存知の長良川の鵜飼は、宮内庁所管で伝統文化として、鵜匠の方々^{かがりび}の伝統漁法が継承されています。長良川流域の市町村の方々によって守られた清流に、篝火の下での夏の夜の鵜飼は、幻想的で、雅の世界です。今大会は交流会に鵜飼見学を組み込みます。

多くの方々のご参加をお待ち致しております。

平成30年3月1日

一般社団法人 日本ブルーベリー協会 会長 石川 駿二
2018ブルーベリー全国産地シンポジウム in 岐阜実行委員会
委員長 玉田 和浩
ぎふ県ブルーベリー協会 会長 吉村 隆雄

大会プログラム

第1日目 2018年6月8日(金)

受付時間 11:30～13:00

会場 岐阜グランドホテル 西館2F「雪の間」前にて受付

開会式 13:00～13:30

・開会の言葉 ・挨拶 ・来賓祝辞 ・来賓紹介

基調講演 13:30～14:10

講師 林 琢也 (岐阜大学准教授)

演題「岐阜県における果樹農業の現状とブルーベリーの可能性」

特別講演 14:10～14:50

講師 江澤 貞雄 (エザワフルーツランド代表)

演題「ブルーベリーのど根性栽培による仲間づくり・地域づくり」
～豊かな村づくり・農水大臣賞受賞、ディスカバー農山漁村の宝認証～

休憩 14:50～15:10 (20分)

宿泊の方は手荷物を移動

事例発表 15:10～15:30

野村 久良 (株式会社 紫屋)

「目標1億円のブルーベリー6次産業に挑戦」～全国農業担手サミット発表者からのメッセージ～

今西 和平 (OKB農場・ベリーズファーム池田)

「遊休農地活用法:企業連携による規模拡大進行中」～夢おこし・町おこし・人おこし～

パネルディスカッション 15:30～16:55

《テーマ》

清流の国ぎふの“ブルーベリーのこれから”～地域ブランド化を目指して～

伊藤辰博・野村久良・今西和平・足立正博・中澤治雄・吉村隆雄

閉会式 16:55～17:00

・閉会の言葉

展示・出店コーナー 11:00～17:00

栽培および果実販売にかかわる各種資材の展示・販売

※展示・出店コーナーは、開会前や休憩時間などにぜひご覧ください

情報交換会 17:00～18:45

岐阜グランドホテル 地下1F「ロイヤルホール」

・開会の言葉 ・来賓挨拶、紹介

・歓談(演歌歌手…大城バネサ ステージ・手品披露…飛騨高山市 山腰哲郎)

・閉会の言葉

19:00～鵜飼船乗船 21:00ホテル到着後解散

第2日目 2018年6月9日(土)

Aコース、Bコースに分かれて見学します

受付時間 8:00～8:30

集合場所 岐阜グランドホテル 1Fロビーにて集合・受付

産地見学 8:30～15:30

※定員 400名

株式会社 紫屋 ……(関市)

ブルーベリーファームよしむら

……(岐阜市)

目標1億円の6次産業化



土耕栽培
パック栽培
ハウス栽培
500円玉大ブルーベリーに挑戦
ファミリー園
回転流し素麺他

有限会社 ふる里農園 美の関

……(関市)

3,500本の
ブルーベリー栽培と
野菜販売
地産地消ハウス



OKB農場・ベリーズファーム池田

……(池田町)

銀行と連携した
濃尾平野を
一望する観光農園



昼食 12:30～13:30 (60分)

解散

15:30 (予定)

「岐阜グランドホテル」または「岐阜駅」到着後解散

お問い合わせ先

一般社団法人 日本ブルーベリー協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-6-1 イトーピア浜離宮429

TEL 03-3436-6121 FAX 03-3436-5708



「2018ブルーベリー全国産地シンポジウムin岐阜」実行委員会

〒501-6121 岐阜県岐阜市柳津町上佐波2丁目276番地

ぎふ県ブルーベリー協会事務局 (ブルーベリーファームよしむら内)

TEL 058-279-2364 FAX 058-279-0880